

母子生活支援施設の改築予定について

札幌市内には、母子生活支援施設が5施設あり、母子家庭等が入所し、自立の促進のための生活支援等を受けている。これまで、母子生活支援施設の老朽化に対応し、施設を維持していくため、2施設の改築を実施してきた。

札幌市では、中期実施計画（アクションプラン2023）において、新たに1施設の改築を予定しており、対象である母子生活支援施設すずらん（社会福祉法人北海道社会事業協会が設置・運営）の新施設の機能について、現時点の検討状況を報告する。

1 母子生活支援施設すずらんの改築について

母子生活支援施設すずらんは、中央区に位置し、月平均15.7世帯（令和2年から令和4年の3年間における月初入所世帯数の平均）が入所している。

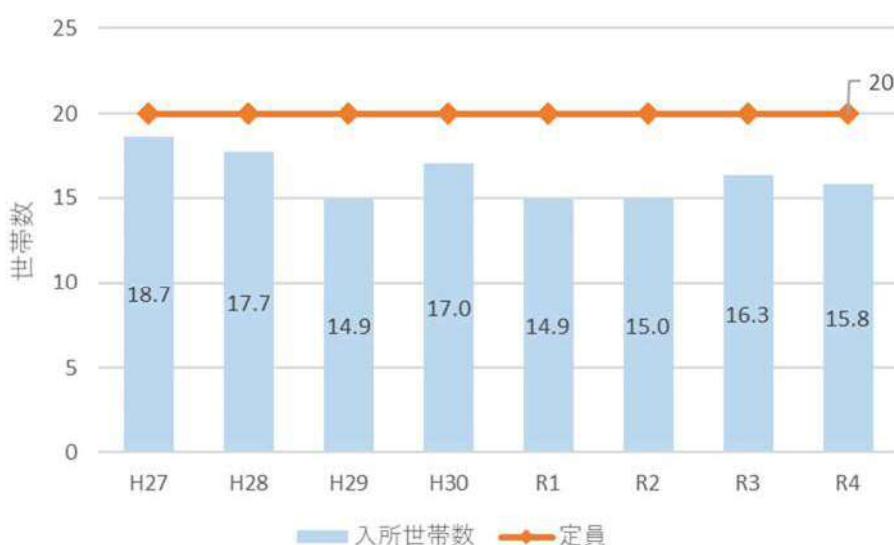
同施設では、入所中の母子家庭に対し、自立に向けた様々な支援を行っているほか、不安を抱える母子に心理療法担当職員によるケアなども実施しているところ。

建物の状況としては、建築から42年が経過しており、老朽化への対応が必要となっている。

また、札幌市では、母子生活支援施設の目指すべき方向性についての検討において、多様化するニーズへの対応や施設の機能強化等についての課題を整理しており、老朽化している施設の設備更新だけでなく、妊婦支援や職員による24時間対応などを見据えた機能強化を進めることとしている。

今後予定しているすずらんの改築では、老朽化への対応だけでなく、機能強化を想定した検討が必要となるため、北海道社会事業協会と改築に向けた協議を進めていく。

図1 母子生活支援施設すずらんの入所世帯数推移（年度平均）



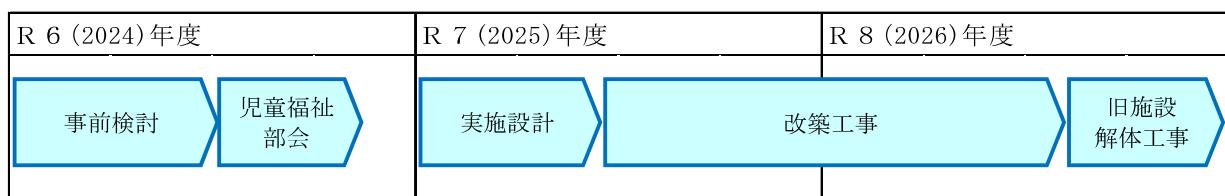
2 改築後の機能について

新たな施設は、現施設の敷地内に建築する予定。改築後の施設については、母子生活支援施設の目指すべき方向性であげた機能強化を北海道社会事業協会と協議していく。

項目	改築前	改築後	改築前後の変更点
所在地	中央区	中央区	敷地内での改築を予定
母子室	20室	20室	
母子室以外の居室	2室	2室	一部を妊婦等への支援に活用検討中
カウンセリング室	1室	1室	
休憩室	1室	1室	職員の宿直を考慮し、面積の拡張を検討中
医務室	1室	1室	
保育室	なし	1室	新たに設置予定
学習室	1室	1室	
児童室	1室	1室	

3 今後の予定について

すずらんの改築については、引き続き社会福祉法人北海道社会事業協会での検討作業を進め、令和6年秋頃に開催する児童福祉部会に諮問予定



4 資料

- ・資料 2－2 札幌市における母子生活支援施設の状況